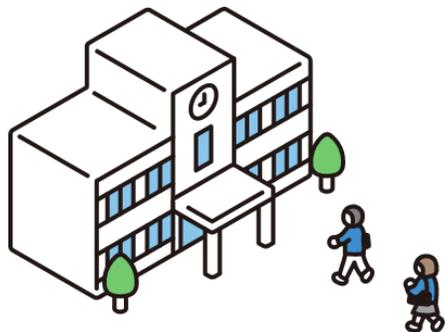


令和6年度 全国学力・学習状況調査 結果概要



交野市教育委員会



(1) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 実施日

令和6年4月18日（木）

(3) 調査内容

- ①児童生徒：教科に関する調査〔国語、算数・数学〕、
質問紙調査
②学校：質問紙調査

(4) 調査を実施した児童生徒数（公立）

小学校第6学年 947,579人
（交野市：9校 636人）

中学校第3学年 875,952人
（交野市：4校 583人）

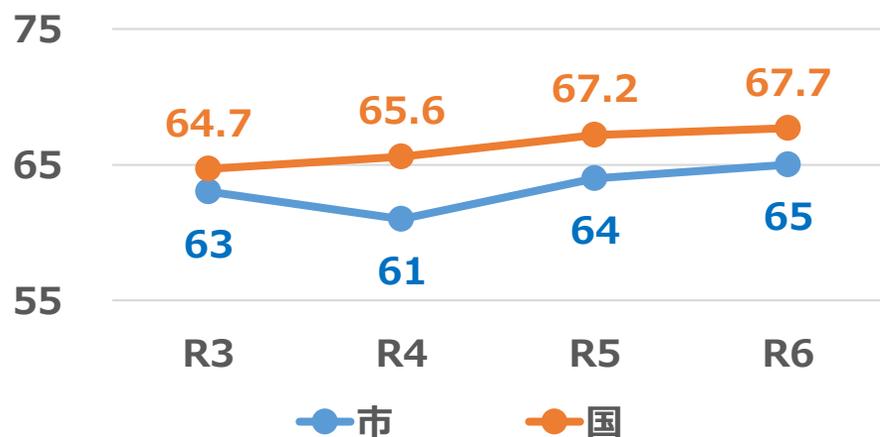
調査結果概況

			平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
小学校	国語	交野市	9.1 / 14	65	10.0	3.1
		大阪府（公立）	9.2 / 14	66	10.0	3.1
		全国（公立）	9.5 / 14	67.7	10.0	3.1
	算数	交野市	9.7 / 16	61	10.0	3.8
		大阪府（公立）	10.0 / 16	63	11.0	3.9
		全国（公立）	10.1 / 16	63.4	11.0	3.9
中学校	国語	交野市	9.0 / 15	60	9.0	3.3
		大阪府（公立）	8.6 / 15	57	9.0	3.4
		全国（公立）	8.7 / 15	58.1	9.0	3.4
	数学	交野市	8.6 / 16	54	9.0	4.1
		大阪府（公立）	8.2 / 16	51	8.0	4.2
		全国（公立）	8.4 / 16	52.5	8.0	4.1

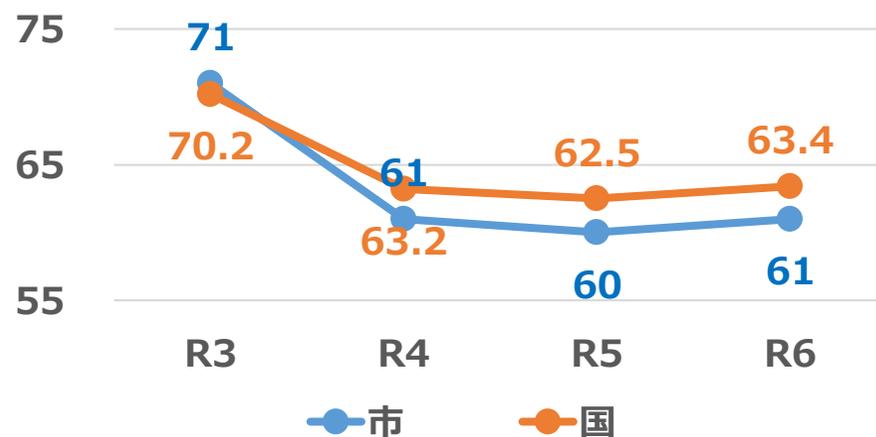
平均正答率 (%) の推移

小学校	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	交野市	全国	交野市	全国	交野市	全国	交野市	全国
国語	63	64.7	61	65.6	64	67.2	65	67.7
算数	71	70.2	61	63.2	60	62.5	61	63.4
理科	—	—	58	63.3	—	—	—	—

国語の推移



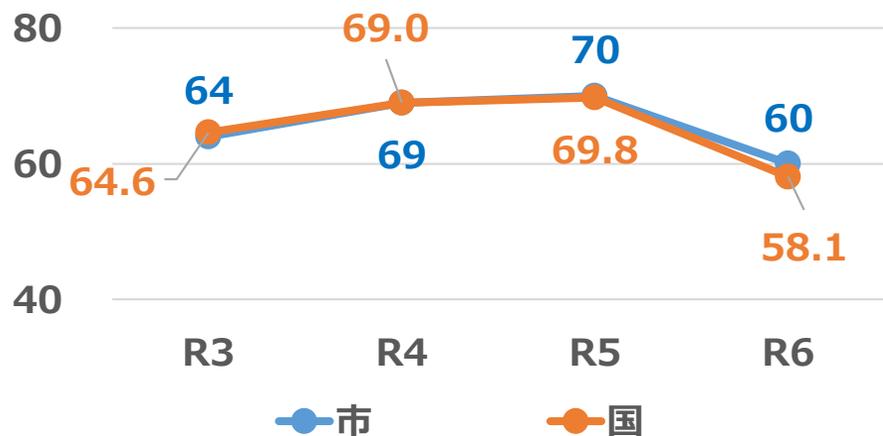
算数の推移



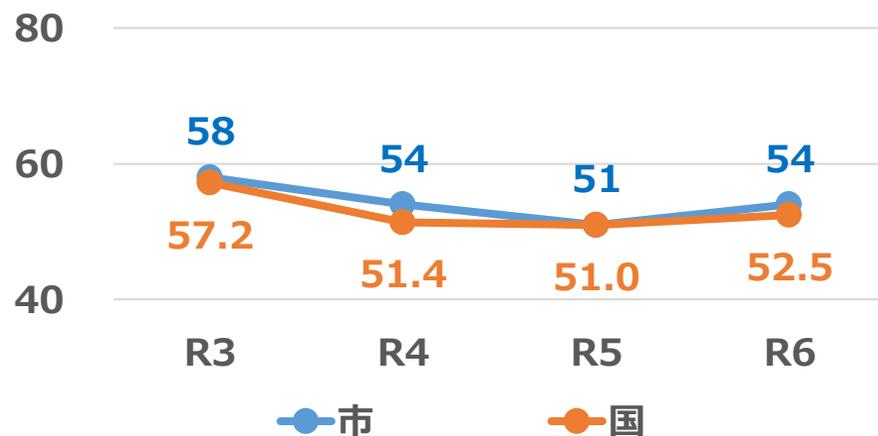
平均正答率 (%) の推移

中学校	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	交野市	全国	交野市	全国	交野市	全国	交野市	全国
国語	64	64.6	69	69.0	70	69.8	60	58.1
数学	58	57.2	54	51.4	51	51.0	54	52.5
理科	—	—	48	49.3	—	—	—	—
英語	—	—	—	—	47	45.6	—	—

国語の推移



数学の推移

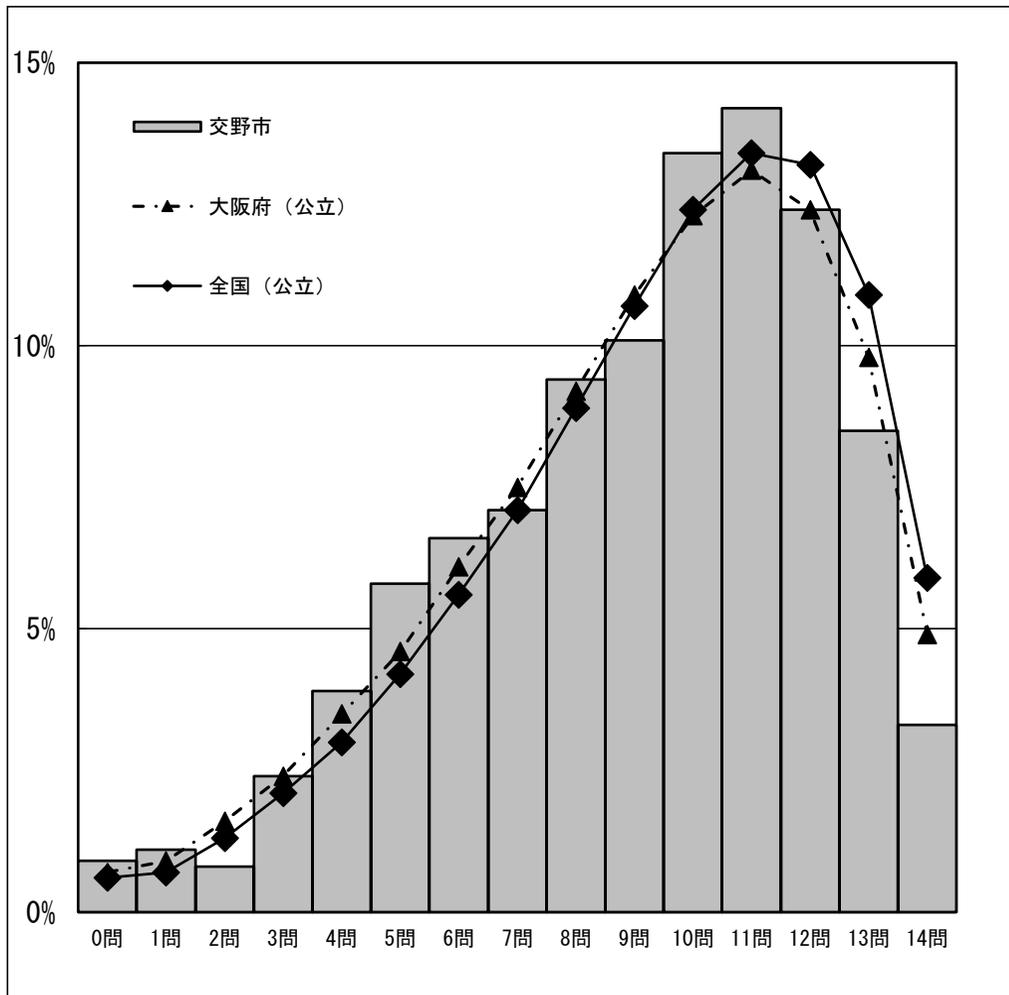


小学校・国語

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)		
			交野市	全国	
全体		14	65	67.7	
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	4	60.6	64.4
		(2) 情報の扱い方に関する事項	1	86.1	86.9
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	1	69.3	74.6
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	58.1	59.8
		B 書くこと	2	66.5	68.4
		C 読むこと	3	67.0	70.7
	評価の観点	知識・技能	6	66.3	69.8
思考・判断・表現		8	63.5	66.0	
主体的に学習に取り組む態度		0			
問題形式	選択式	10	67.1	69.9	
	短答式	2	56.1	59.7	
	記述式	2	61.7	64.6	

正答数分布グラフ (横軸：正答数、縦軸：割合)

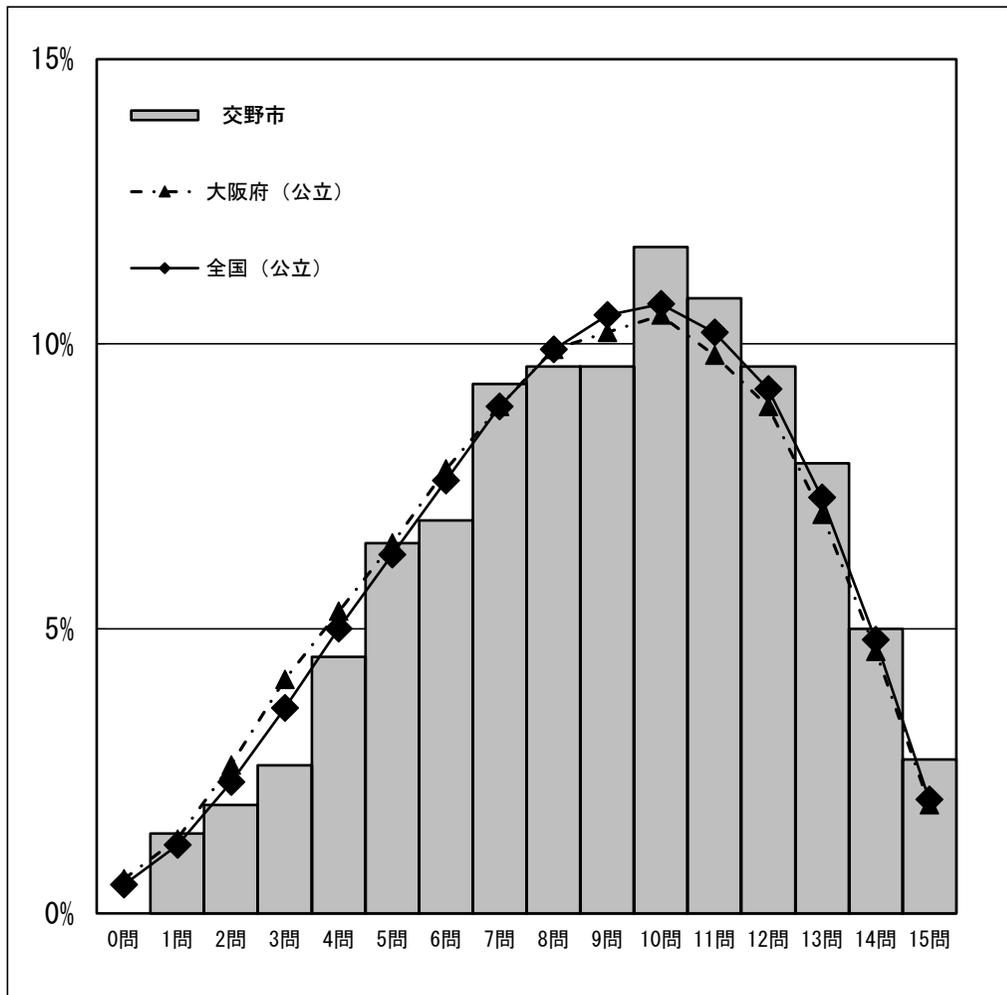


中学校・国語

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)		
			交野市	全国	
全体		15	60	58.1	
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い 方に関する事項	3	62.9	59.2
		(2) 情報の扱い方に関 する事項	2	62.1	59.6
		(3) 我が国の言語文化 に関する事項	1	78.5	75.6
	思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	58.2	58.8
		B 書くこと	2	69.2	65.3
		C 読むこと	4	48.5	47.9
	評価の観点	知識・技能	6	65.3	62.0
思考・判断・表現		9	56.3	55.4	
主体的に学習に取り組 む態度		0			
問題形式	選択式	9	62.8	61.0	
	短答式	3	64.0	61.8	
	記述式	3	47.0	45.5	

正答数分布グラフ (横軸：正答数、縦軸：割合)

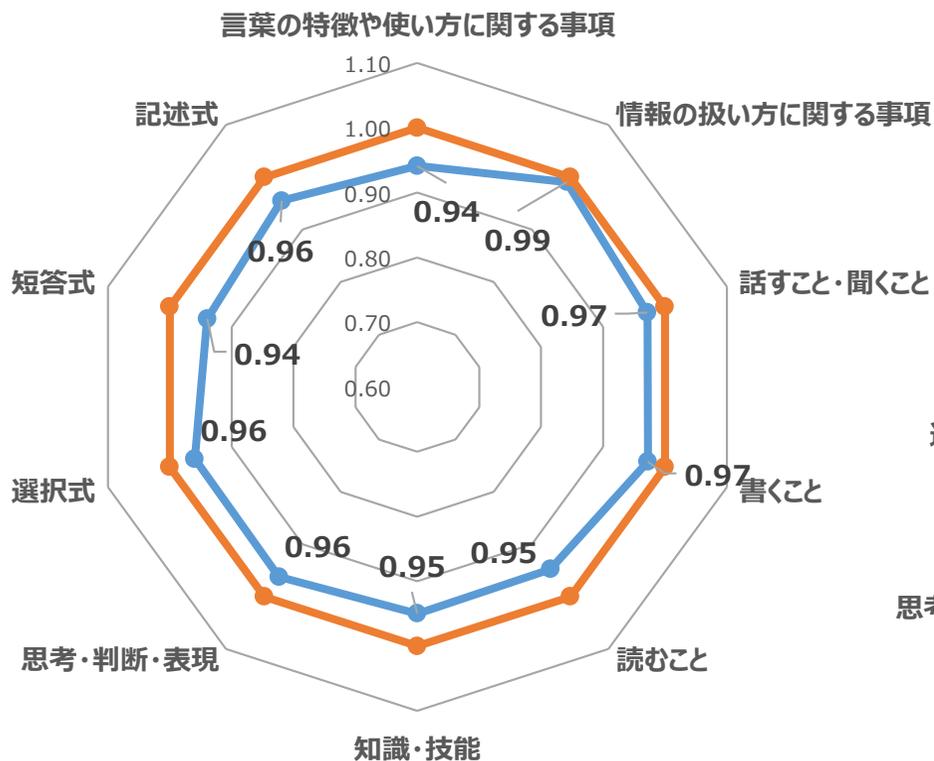


令和3年度小学校 (※同一集団)
平均正答率 63% (全国64.7%)

学習指導要領の内容及び問題形式の状況

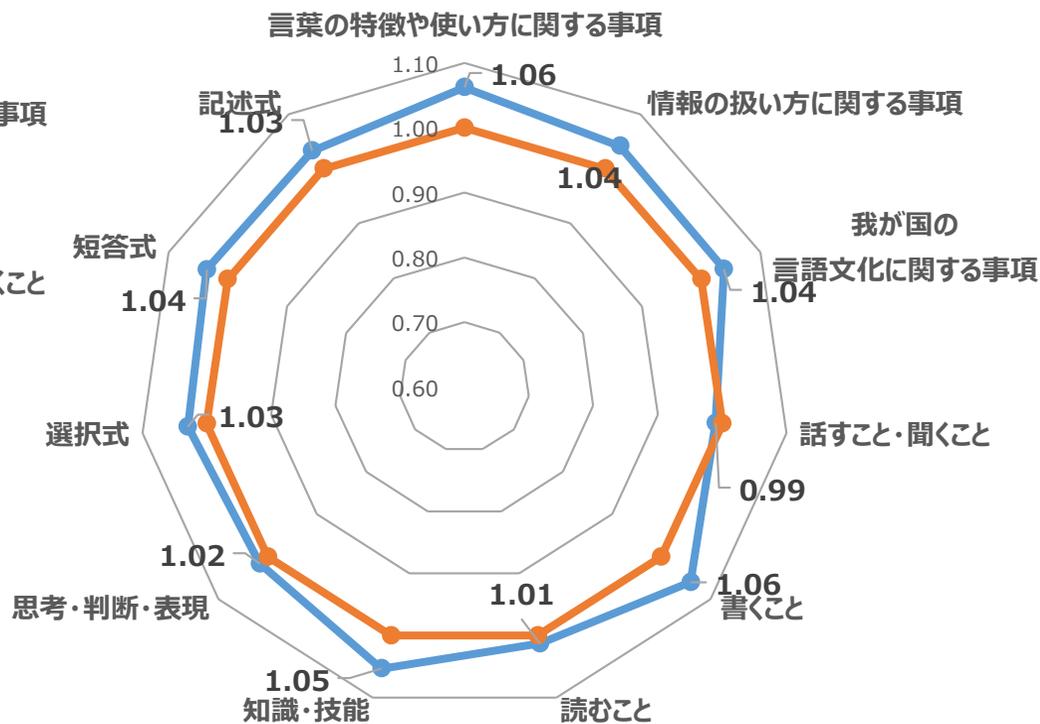
小学校 国語

● 交野市 ● 全国（全国平均を1とする）



中学校 国語

● 交野市 ● 全国（全国平均を1とする）



- ・小学校では、全ての内容及び問題形式において、全国平均を下回る結果となった。（※R5と同様）
- ・中学校では、全国平均とほぼすべてで上回る結果となった。（R5より平均0.3ポイント上昇）

教科に関する調査結果 小学校 国語

- 言葉の特徴や使い方（漢字の活用、主語と述語の関係の捉え、話し言葉と書き言葉の違い）の理解と活用に課題が見られた。
- 自分の考えを伝えるための工夫や条件に従って考えを書きまとめることに課題が見られた。

課題の見られた問題

設問 3三

【C 読むこと】【思考・判断・表現】【記述式】

人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかをみる問題

<条件>

- ① 【物語】を読んで、a「心に残ったところ」、b「心に残った理由」を書いている。
- ② 【物語】から言葉や文を取り上げて書いている。
- ③ 60字以上、100字以内で書いている。

解答類型	交野市	全国
条件①a、bの両方と、条件②、③を満たしているもの	68.8	72.6
条件①a、bの両方と、条件②は満たしているが、条件③は満たしていないもの	0.9	0.6
条件①a、bは満たしているが、条件②は満たしていないもの ※条件③を満たしているかどうかは不問とする。	0.0	0.0
条件①a、条件②は満たしているが、条件①bは満たしていないもの ※条件③を満たしているかどうかは不問とする。	6.1	6.0
条件①aは満たしているが、条件①b、②は満たしていないもの ※条件③を満たしているかどうかは不問とする。	0.0	0.0
条件②は満たしているが、条件①aは満たしていないもの ※条件①b、③を満たしているかどうかは不問とする。	3.8	5.5
上記以外の解答	3.8	2.7
無解答	16.5	12.6

【話し合いの様子】

島さん



原さん



島さん



原さん



島さん



原さん



島さん 私は、(4)を示しながら「きれいな虹がかんで見えるだけ」という表現がいいなど思ったよ。もう一度物語を読んで、心に残ったところとその理由を考えてみよう。

原さん そうだね。物語のいろいろなところを結び付けて考えると、心に残った理由がはっきりしてきたよ。島さんは、どこが心に残ったの。

島さん そうか。それで結局、オニグモじいさんは、(3)を示しながら「わしが食って生きているのはな、朝日のひかりだよ」と言ったんだね。

原さん この言葉にオニグモじいさんの迷いが表れていると思ったからなんだ。(2)を示しながら「大きな目をひらいて、いっしょけんめいに」とあるようなハエの女の子のすなおな姿を見て、自分がハエの女の子を食べる存在であることを、どのように話すか迷っているのではないかな。

島さん なぜ、そこが心に残ったの。

原さん 私は、オニグモじいさんがハエの女の子に、(1)を示しながら「わしみたいなクモが、生きるために食っているのはな」と言ってみようかと思ったところが残ったんだ。

二 原さんは、「物語」を読んで、心に残ったところとその理由をまとめるために、同じ物語を読んだ島さんと話し合うことにしました。次は、「話し合いの様子」です。これをよく読んで、あとの(1)と(2)の問いに答えましょう。

教科に関する調査結果 中学校 国語

- 文章と図を結び付けたり、文章の全体と部分との関係を捉えたり、適切に内容を読み捉えることに課題が見られた。
- 問題の内容を捉え、条件にあわせて自分の考えを書き表したり、書き方を工夫したりすることに課題が見られた。

課題の見られた問題

設問 1四

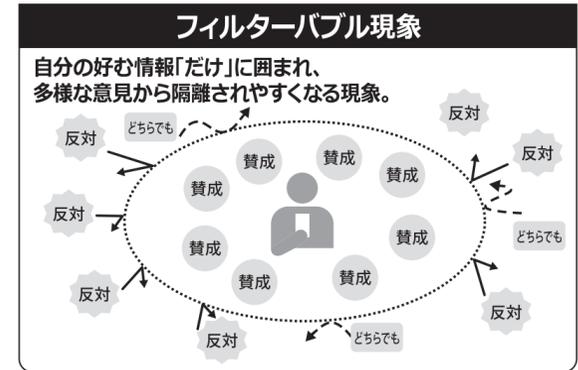
【A 話すこと・聞くこと】【思考・判断・表現】【記述式】

話し合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることができるかをみる問題

〈正答の条件〉 次の条件を満たしているもの

- ① フィルターバブル現象の特徴について取り上げながら、これからどのように本を選びたいかを具体的に書いている。
- ② 【話し合いの一部】の誰の発言と結びつのが分かるように書いている。
- ③ 実際に話すように書いている。

〈図〉



解答類型	交野市	全国
条件①、②、③を満たしているもの	40.9	44.7
条件①、②を満たし、条件③を満たさないもの	0.0	0.0
条件①、③を満たし、条件②を満たさないもの	18.7	15.2
条件②、③を満たし、条件①を満たさないもの	18.6	16.8
上記以外	13.6	13.3
無解答	8.2	9.9



山岡さん

皆さんは、【フィルターバブル現象の資料】にあるような経験がありますか。



今井さん

私の兄は、時々、インターネットで検索して本を買っているのですが、趣味にしている将棋に関する本の表示が多くなったと言っていました。これは、フィルターバブル現象が起きているということでしょうか。



山岡さん

〈解説〉の例と同じような状態ですね。インターネットを利用して本を選ぶと、フィルターバブル現象の影響を受ける可能性があります。では、話題を「フィルターバブル現象と本の選び方」にして話し合ってみませんか。



今井さん

身近なテーマでよいと思います。私は、兄のようにインターネットで本を買うことはないのですが、皆さんはどうですか。

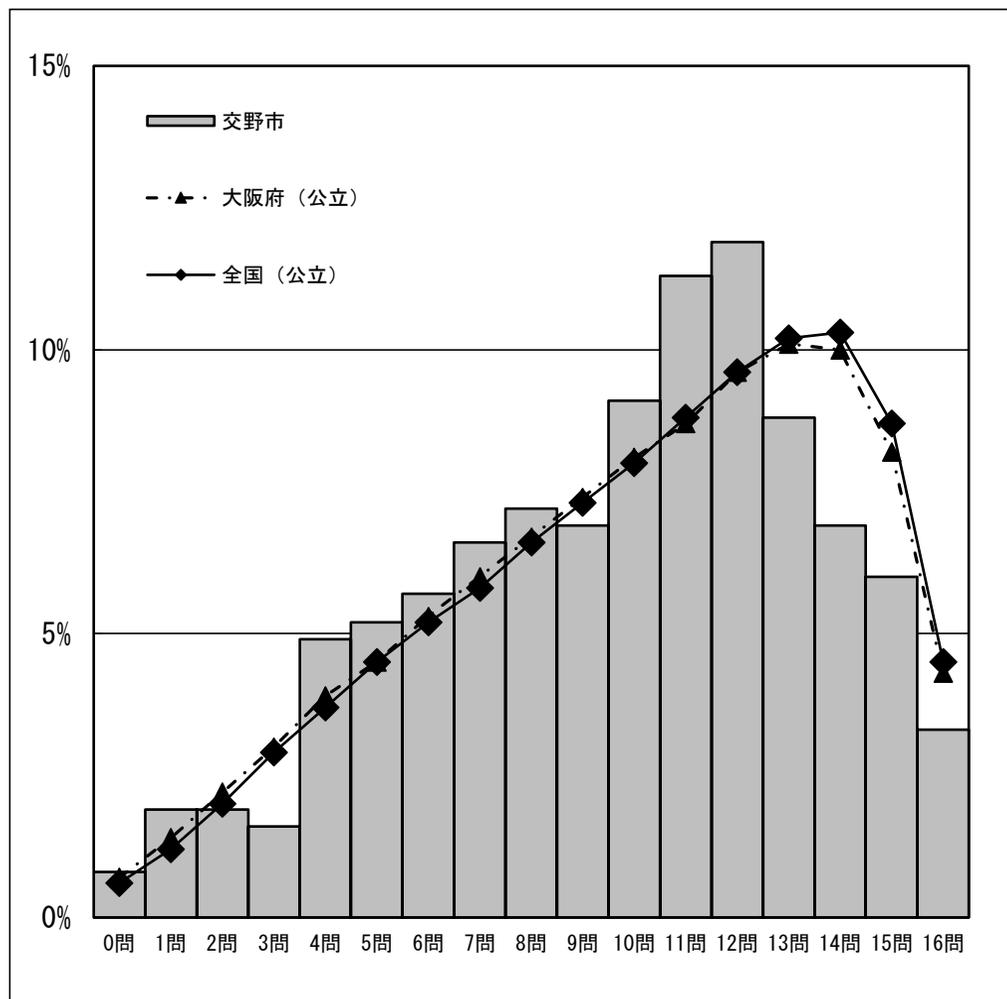
【話し合いの一部】

小学校・算数

分類・区別集計結果

分類	区分	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)	
			交野市	全国
全体		16	61	63.4
学習指導要領の領域	A 数と計算	6	64.6	66.0
	B 図形	4	64.2	66.3
	C 測定	0		
	C 変化と関係	3	45.1	51.7
	D データの活用	4	58.7	61.8
評価の観点	知識・技能	9	71.2	72.8
	思考・判断・表現	7	46.9	51.4
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	5	74.5	75.3
	短答式	7	58.0	62.0
	記述式	4	47.6	51.0

正答数分布グラフ (横軸：正答数、縦軸：割合)

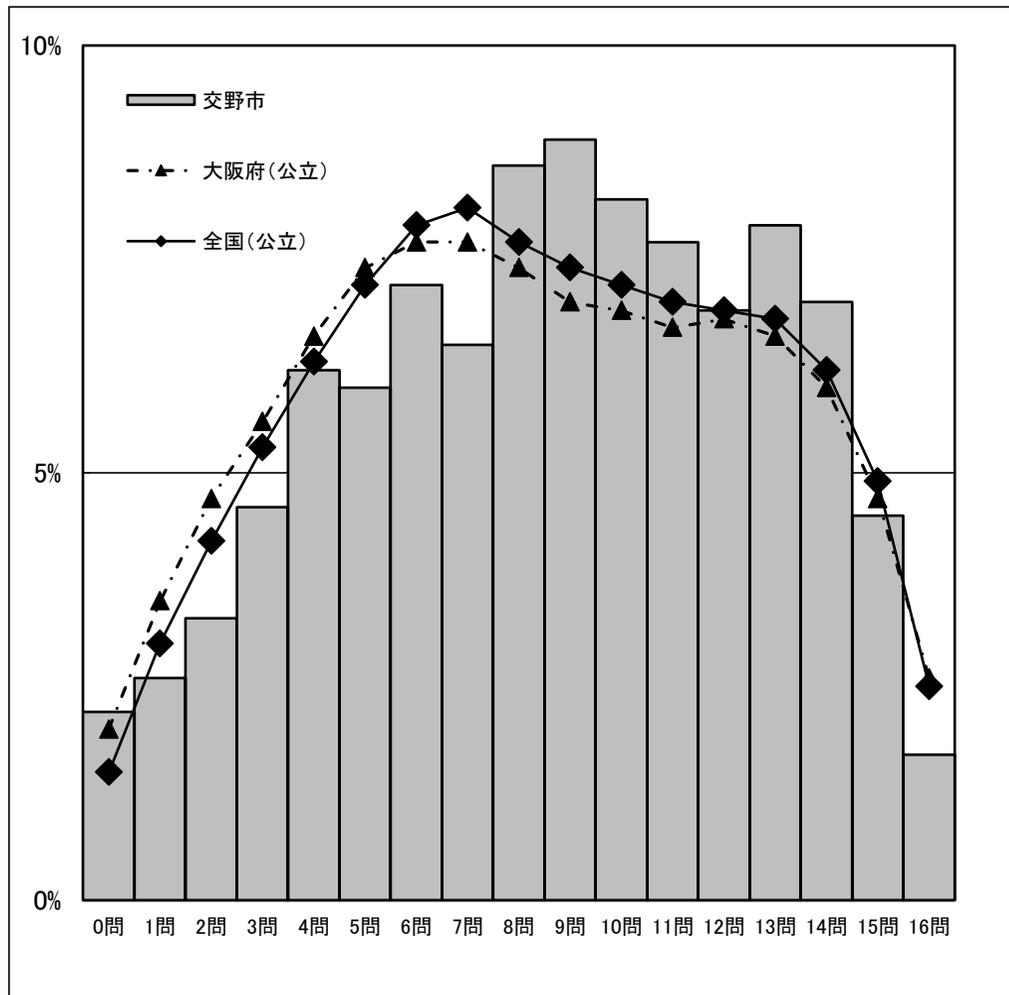


中学校・数学

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 問題数 (問)	平均正答率(%)	
			交野市	全国
全体		16	54	52.5
学習指導要領の領域	A 数と式	5	54.6	51.1
	B 図形	3	44.3	40.3
	C 関数	4	59.5	60.7
	D データの活用	4	54.1	55.5
評価の観点	知識・技能	11	64.5	63.1
	思考・判断・表現	5	30.2	29.3
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	5	58.0	58.5
	短答式	6	69.9	67.0
	記述式	5	30.2	29.3

正答数分布グラフ (横軸：正答数、縦軸：割合)

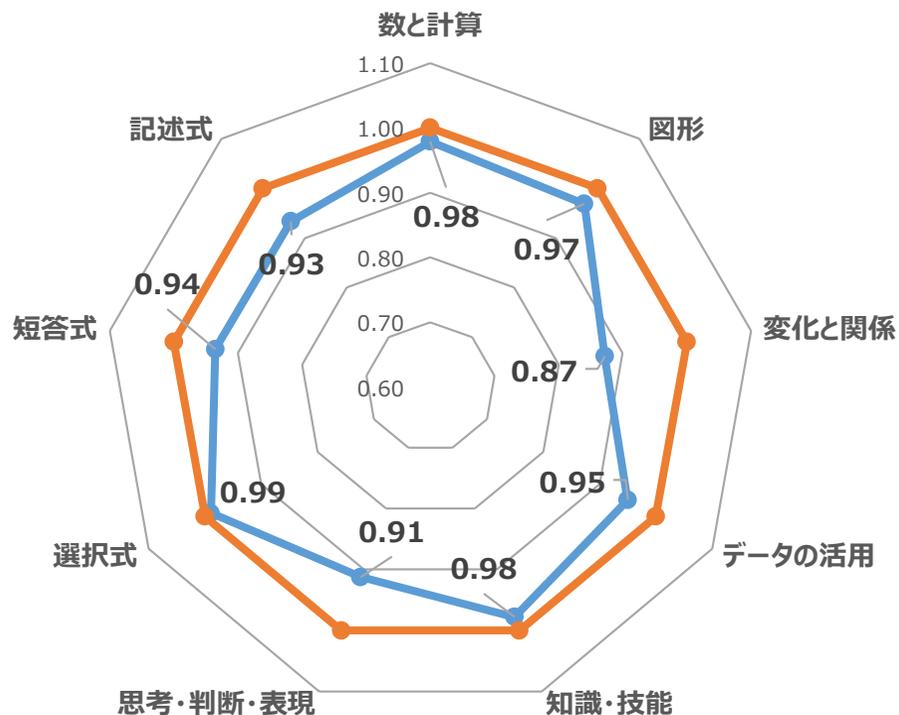


令和3年度小学校 (※同一集団)
平均正答率 71% (全国70.2%)

学習指導要領の領域及び問題形式の状況

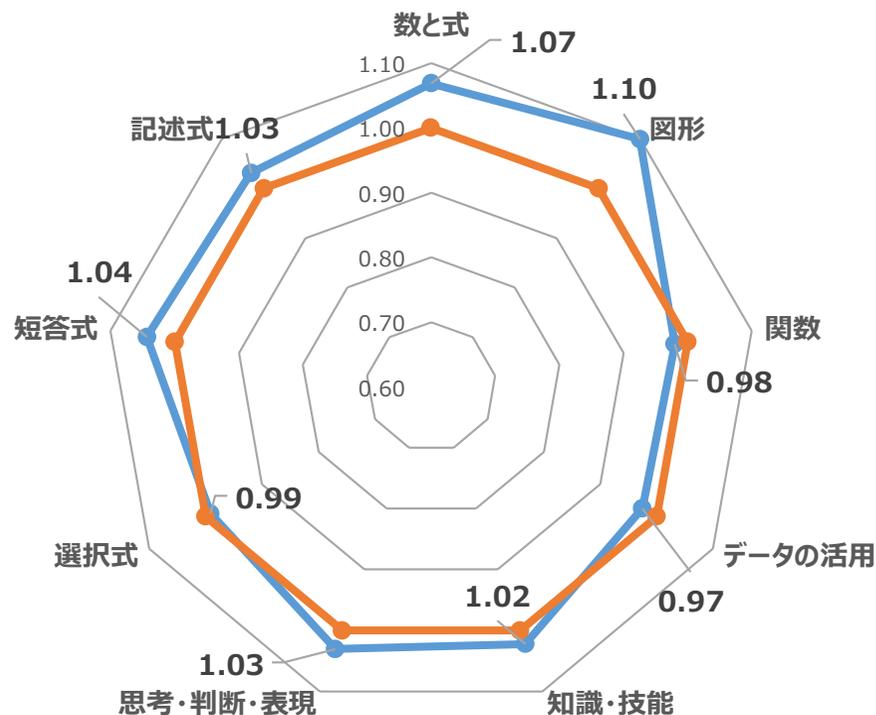
小学校 算数

● 交野市 ● 全国 (全国平均を1とする)



中学校 数学

● 交野市 ● 全国 (全国平均を1とする)



- ・小学校では全ての項目で全国平均を下回った。(「記述式」はR5より0.3ポイント上昇)
- ・中学校では「関数」「データの活用」及び「選択式」を除く項目で全国平均より上回った。
(「図形」はR5より0.15ポイント上昇)

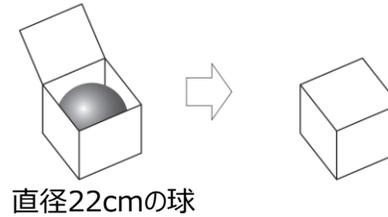
教科に関する調査結果 小学校 算数

- 「変化と関係」領域においては知識の習得やその活用に、「データの活用」領域においてはグラフから必要な数値を読み取り整理することに課題が見られた。
- 条件にあてはまることを言葉と数を用いて記述することに課題が見られた。

課題の見られた問題

設問 3(3) 【B 図形】【思考・判断・表現】【短答式】

球の直径の長ささと立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかをみる問題



	交野市	全国
正答	29.1	36.5
無解答	12.4	9.8

設問 5(3) 【D データの活用】【思考・判断・表現】【記述式】

折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できるかをみる問題

3) こうたさんは、1970年代から2010年代について、C市の桜の開花日の月を調べました。すると、1970年代以降は、開花日の月が3月と4月のどちらかであることがわかりました。

そこで、開花日の月について、各年代の3月の回数と4月の回数を、下のように折れ線グラフに表しました。

こうたさんたちは、左の折れ線グラフをもとに、気づいたことについて話し合っています。

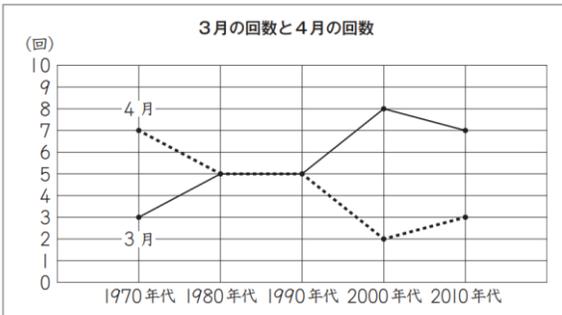
こうた 1970年代は、3月の回数より4月の回数のほうが4回多いですね。

ひなの 3月の回数と4月の回数が同じ年代がありますね。

しおり 3月の回数と4月の回数のちがいが大きい年代がありますね。

左の折れ線グラフで、3月の回数と4月の回数のちがいが最も大きい年代はいつですか。また、その年代について、3月の回数と4月の回数のちがいは何回ですか。

ちがいが最も大きい年代と、その年代について、3月の回数と4月の回数が何回ちがうかを、言葉と数を使って書きましょう。



解答類型	交野市	全国
条件①、②の全てを書いているもの	39.2	44.0
条件①は書いているが、回数を誤って読み取っているもの	5.5	5.8
条件①を書いているもの	23.1	21.6
条件②を書いているもの	2.8	2.9
上記以外のもの	0.8	0.9
無解答	14.0	12.6

<正答の条件> 次の①、②の全てを書いている。

- ①3月の回数と4月の回数の違いが最も大きい年代が2000年代であることを表す言葉
- ②2000年代の3月の回数と4月の回数の違いが6回であることを表す数

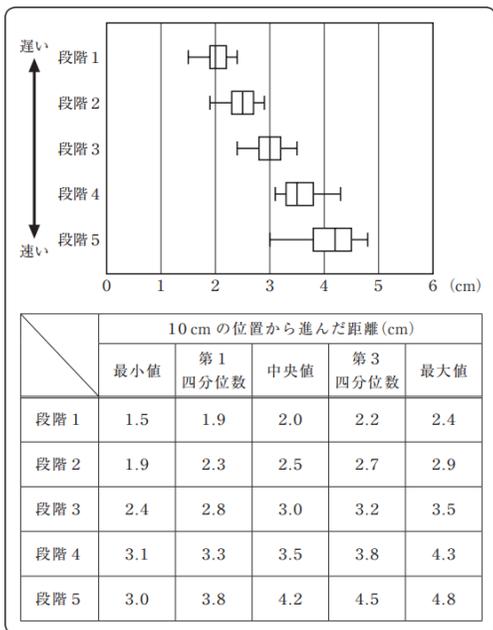
教科に関する調査結果 中学校 数学

- 【データの活用】領域、複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉えることに課題が見られた。
- 判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること、筋道を立てて考え証明することに課題が見られた。

課題の見られた問題

設問 7 (2) 【D データの活用】【思考・判断・表現】【記述式】

10 cm の位置から進んだ距離の分布



複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかをみる問題

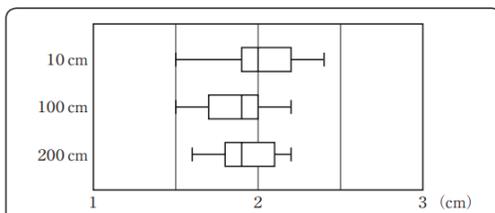
- <正答の条件> 次の (a) 又は (b) について記述しているもの
 (a) 箱ひげ図の箱がだんだんと右側にずれていっていること。
 (b) 第1四分位数と第3四分位数がだんだんと大きくなっていること。

解答類型	交野市	全国
(a)について記述しているもの	6.5	5.2
(b)について記述しているもの	5.0	4.3
上記以外で、四分位数のいずれかの値がだんだんと大きくなっていることについて記述しているもの	14.1	16.5
上記以外	46.6	44.6
無解答	27.8	29.4

設問 7 (3) 【D データの活用】【知識・技能】【選択式】

複数の集団のデータの分布から、四分位範囲を比較することができるかをみる問題

設定した位置から進んだ距離の分布



	設定した位置から進んだ距離 (cm)				
	最小値	第1四分位数	中央値	第3四分位数	最大値
10 cm	1.5	1.9	2.0	2.2	2.4
100 cm	1.5	1.7	1.9	2.0	2.2
200 cm	1.6	1.8	1.9	2.1	2.2

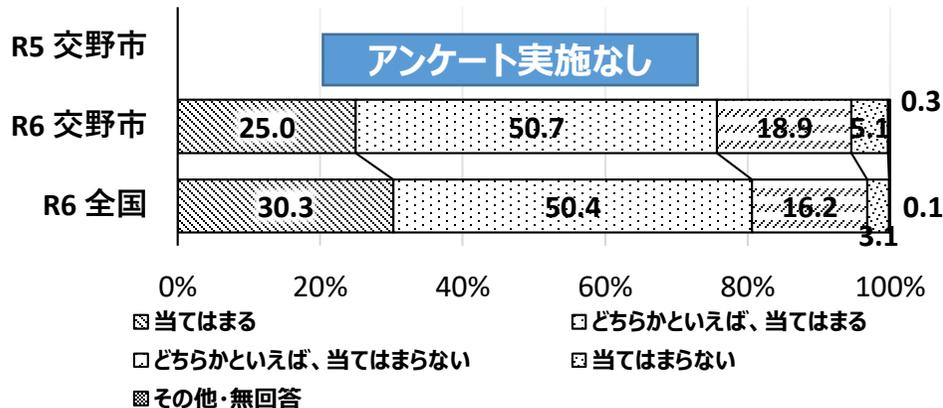
	交野市	全国
正答	41.5	48.5
無解答	0.7	0.9

児童生徒質問紙調査結果

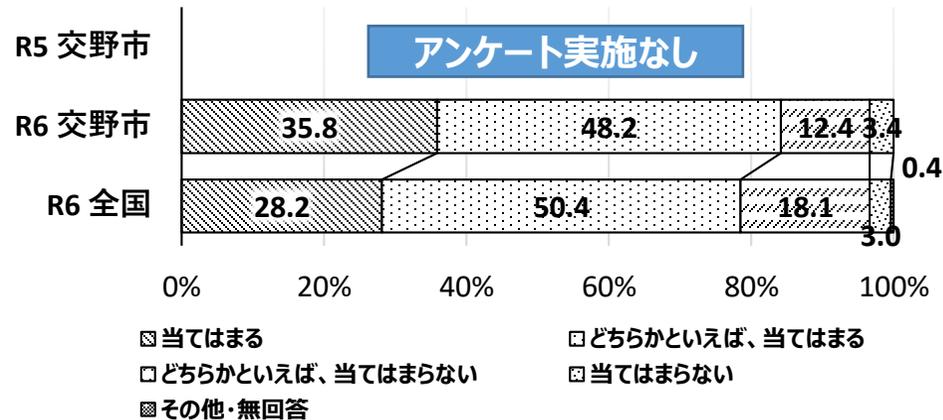
学びに向かう力、人間性等に関係する項目①

分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか

小学校

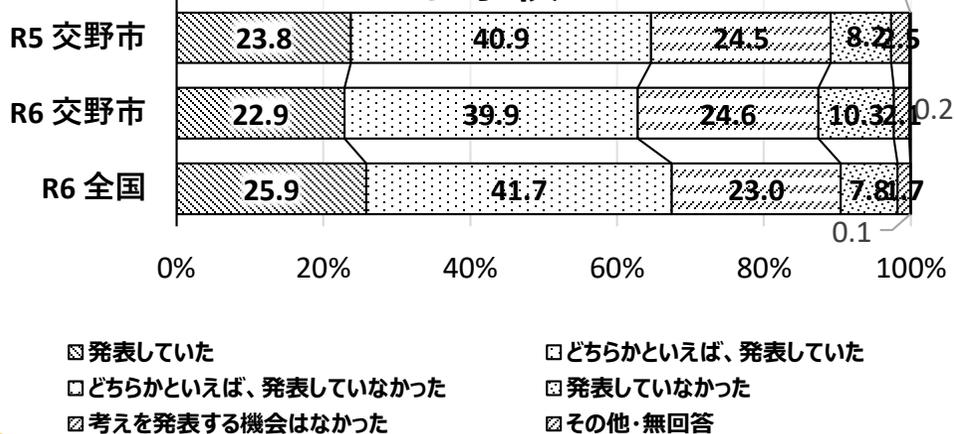


中学校

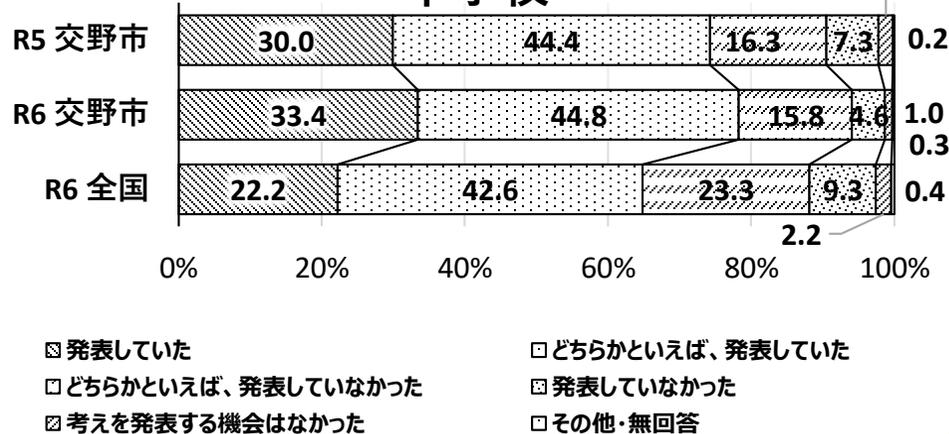


授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか

小学校



中学校

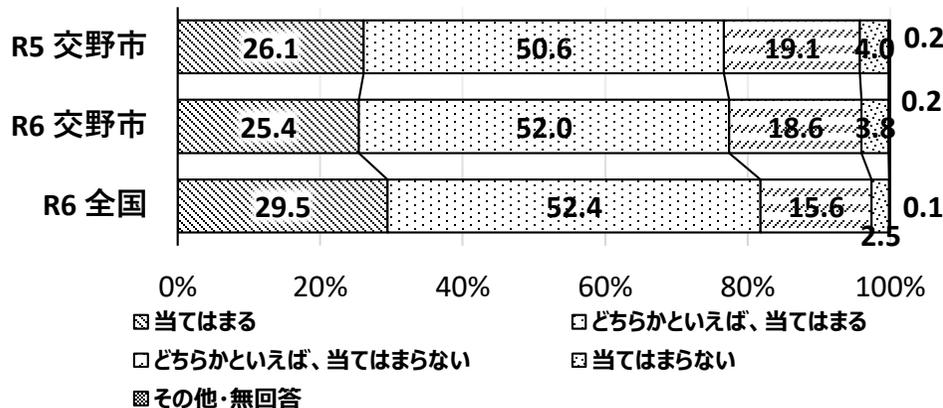


児童生徒質問紙調査結果

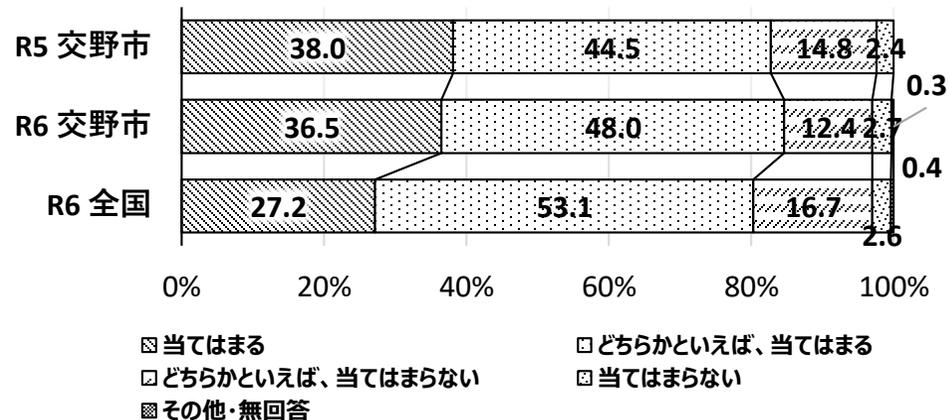
学びに向かう力、人間性等に関係する項目②

授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

小学校



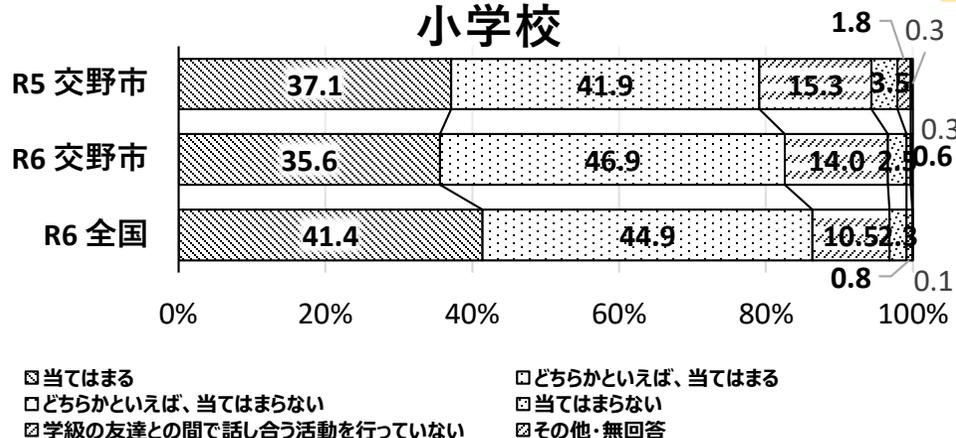
中学校



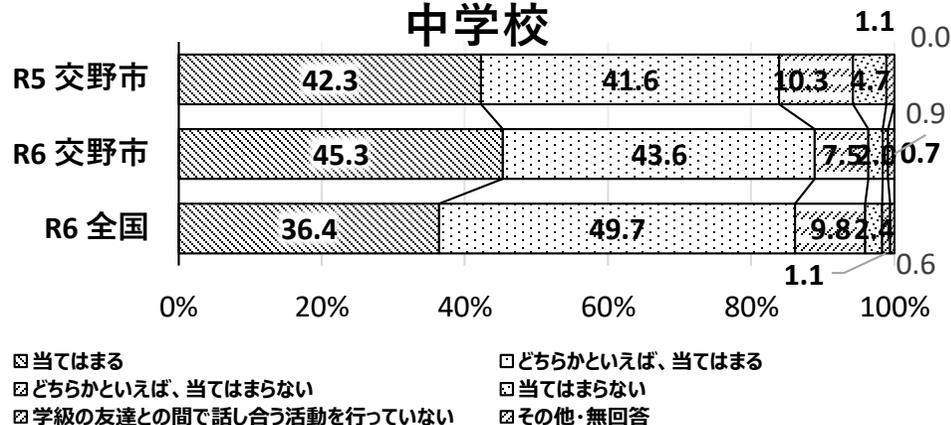
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができますか

※R5:学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか

小学校



中学校

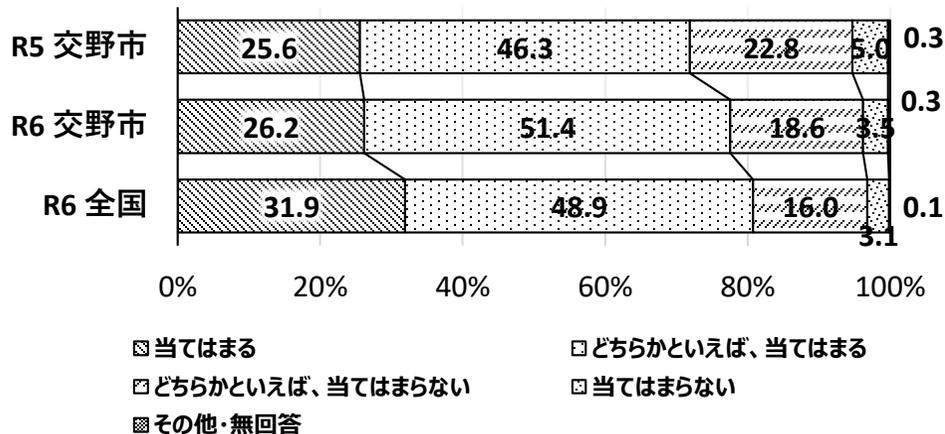


児童生徒質問紙調査結果

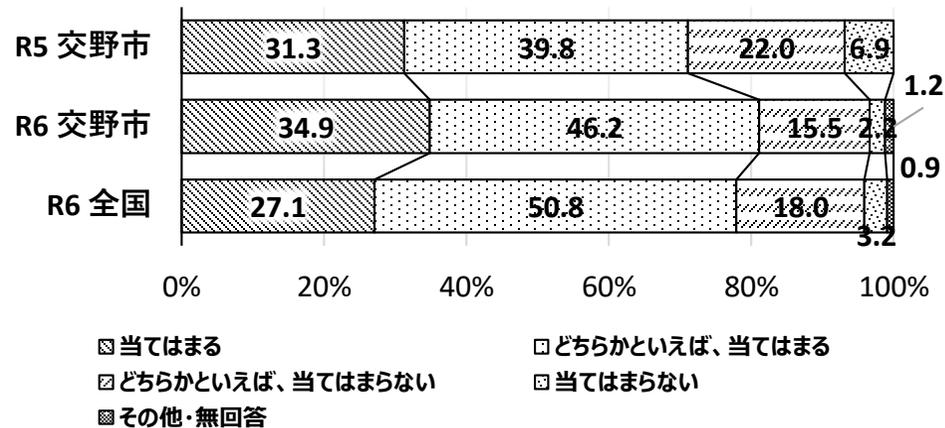
学びに向かう力、人間性等に関係する項目③

学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか

小学校



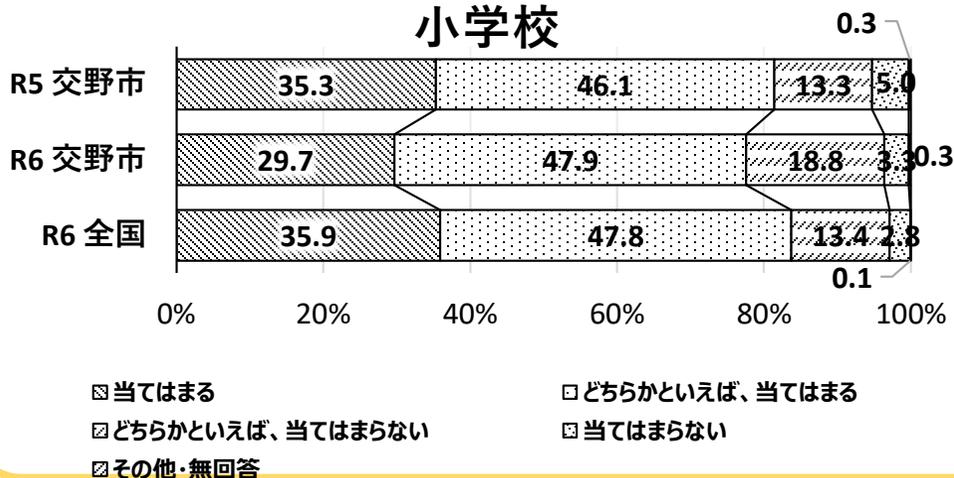
中学校



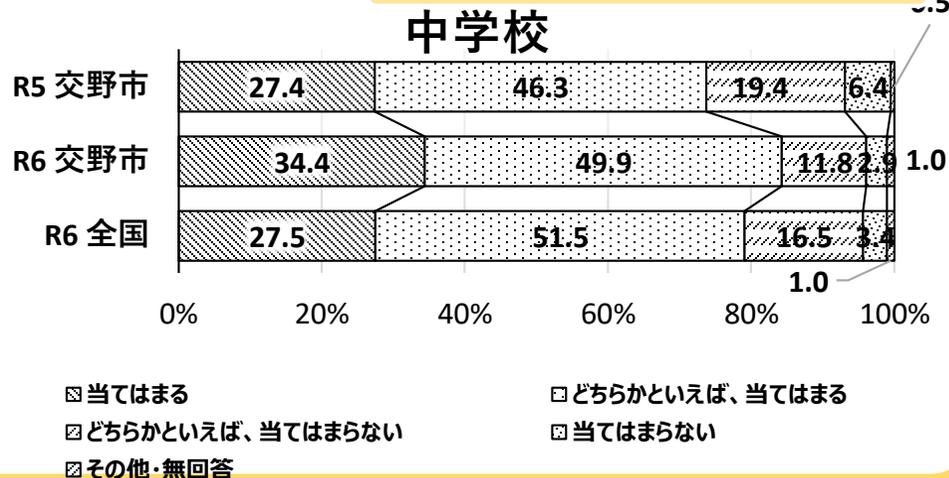
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができますか

※R5:授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか

小学校



中学校



- ☑ 当てはまる
- ☑ どちらかといえば、当てはまらない
- ☑ その他・無回答

- ☐ どちらかといえば、当てはまる
- ☐ 当てはまらない

- ☑ 当てはまる
- ☑ どちらかといえば、当てはまらない
- ☑ その他・無回答

- ☐ どちらかといえば、当てはまる
- ☐ 当てはまらない

児童生徒質問紙調査結果

学びに向かう力、人間性等に係る項目

肯定的回答（「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の合計）【%】

質問項目	小学校 (市)	小学校 (全国)	中学校 (市)	中学校 (全国)
分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	75.7	80.7	84.0	78.6
授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	62.8	67.6	78.2	64.8
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	77.4	81.9	84.5	80.3
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	82.5	86.3	88.9	86.1
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	77.6	80.8	81.1	77.9
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができるとおもいますか	77.6	83.7	84.3	79.0
平均	75.6	80.1	83.5	77.8

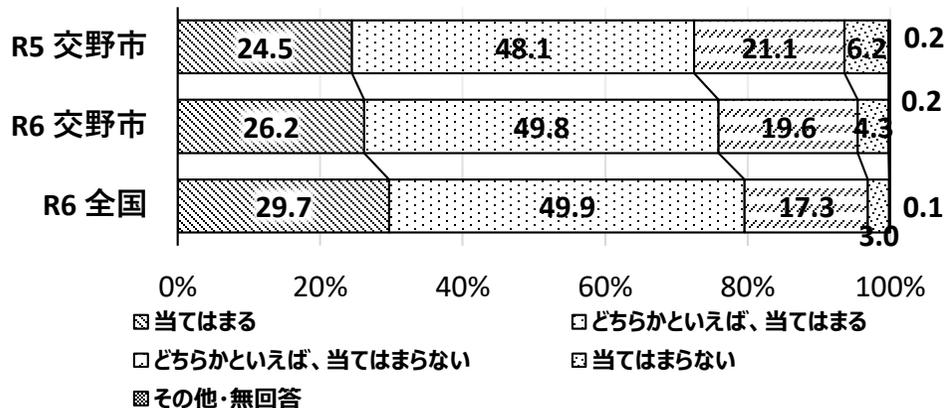
- ・小学校ではすべての項目で全国平均を下回り、中学校ではすべての項目で全国平均を上回っている。
- ・小・中学校ともに、「工夫して発表する」ことが他の項目より低く、一方「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている」が他の項目より高い。

児童生徒質問紙調査結果

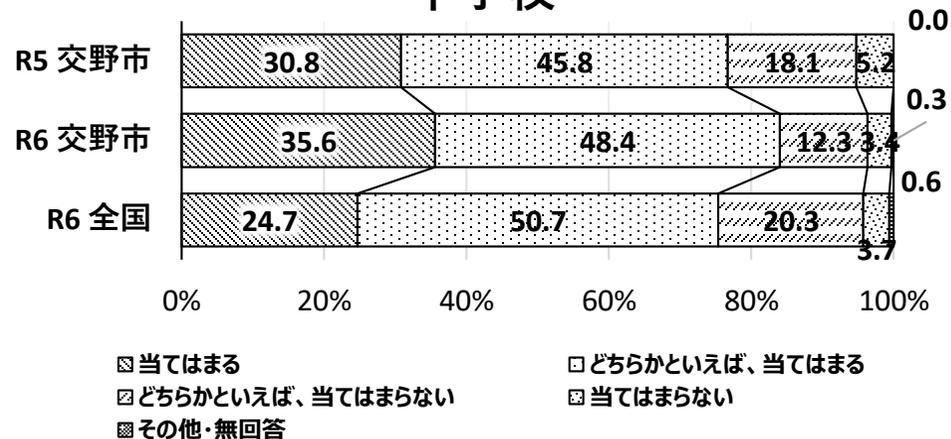
授業改善に関する項目①

授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか

小学校

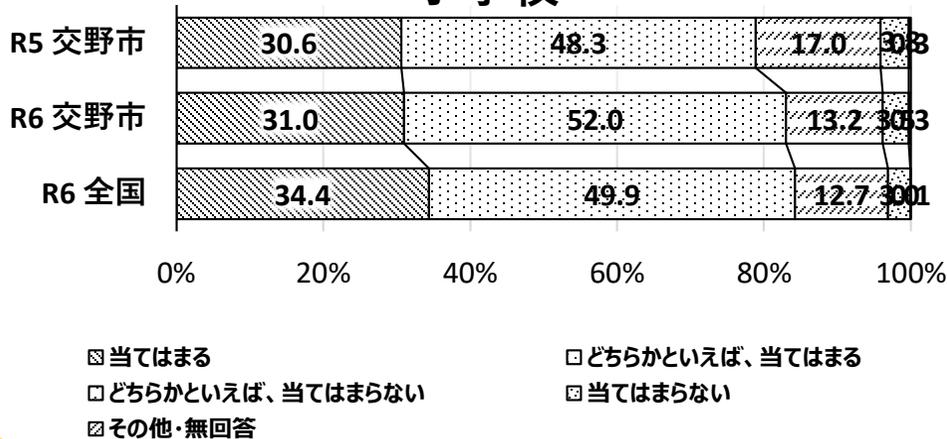


中学校

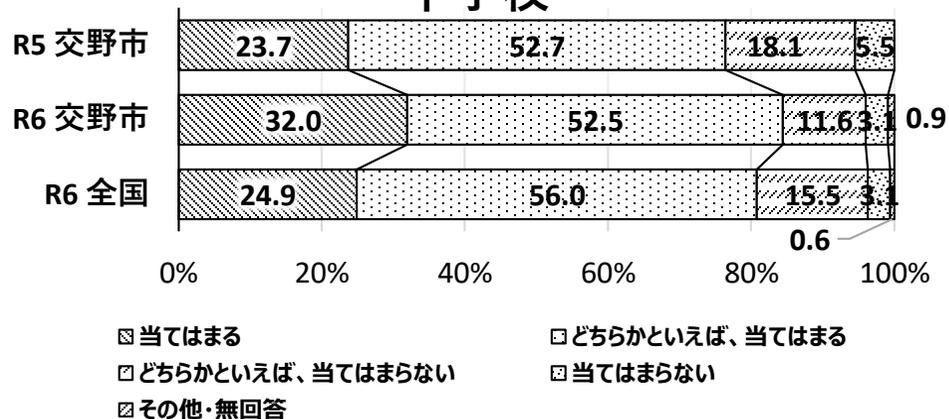


授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか

小学校



中学校

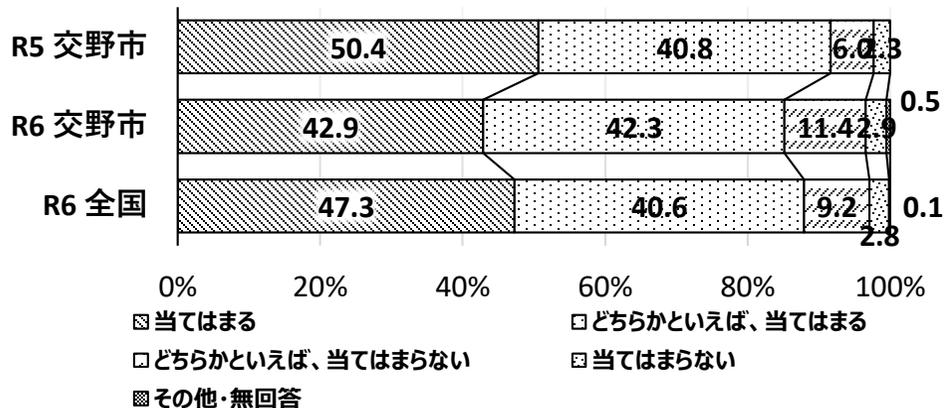


児童生徒質問紙調査結果

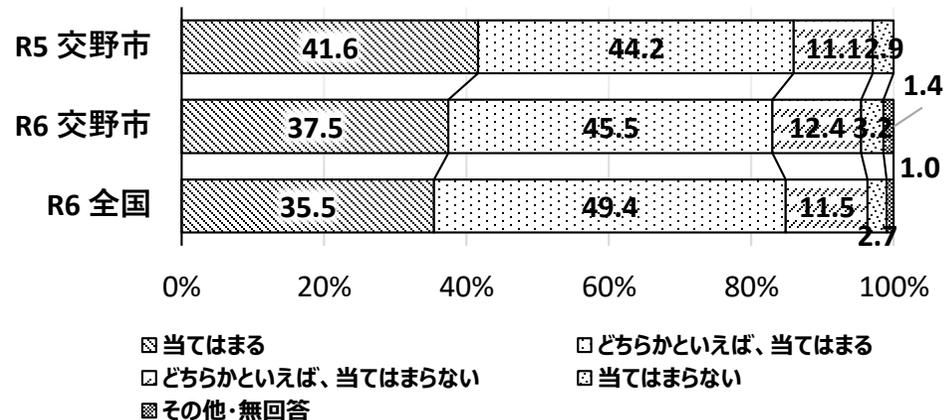
授業改善に関する項目②

先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか

小学校



中学校



児童生徒質問紙調査結果

授業改善に関する項目

肯定的回答（「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の合計）【%】

質問項目	小学校 (市)	小学校 (全国)	中学校 (市)	中学校 (全国)
授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	76.0	79.6	84.0	75.4
授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	83.0	84.3	84.5	80.9
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	85.3	87.9	83.0	84.9
平均	81.4	83.9	83.8	80.4

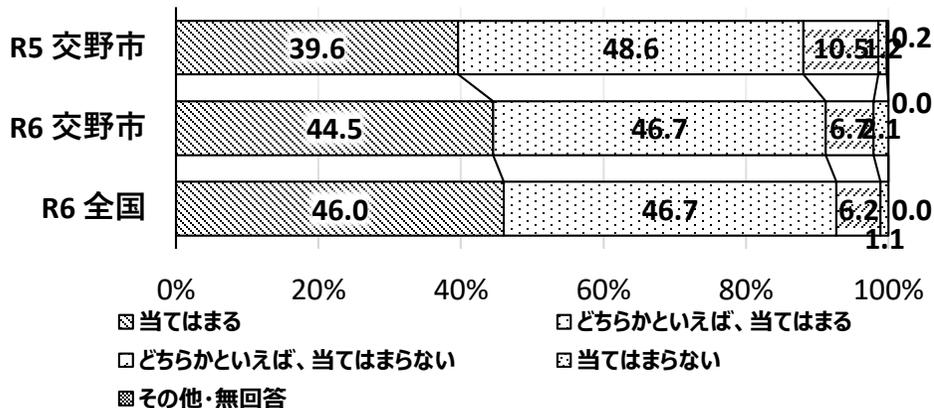
- ・小学校ではすべての項目で全国平均を下回り、中学校では2つの項目で全国平均を上回っている。
- ・小学校において、「学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っている」についての肯定的回答率は他の項目に比べ低い。
- ・授業や指導の在り方について、小・中学校ともに平均約15%が否定的回答であり、改善が求められる。

児童生徒質問紙調査結果

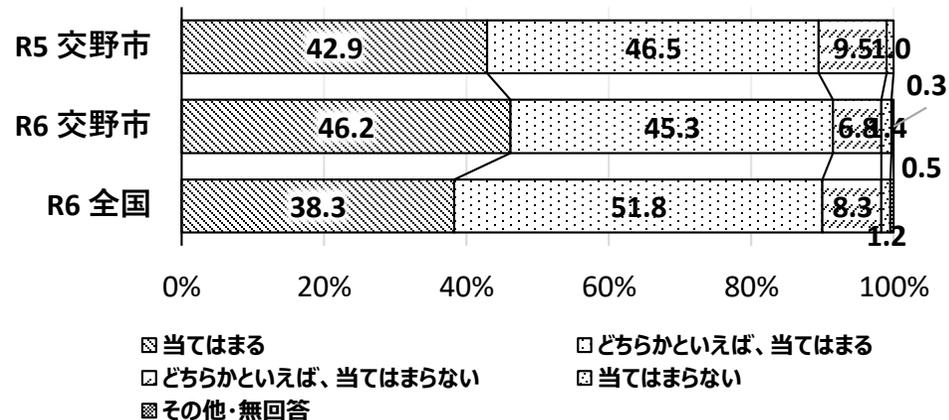
児童・生徒同士の関わりに関する項目①

人が困っているときは、進んで助けていますか

小学校

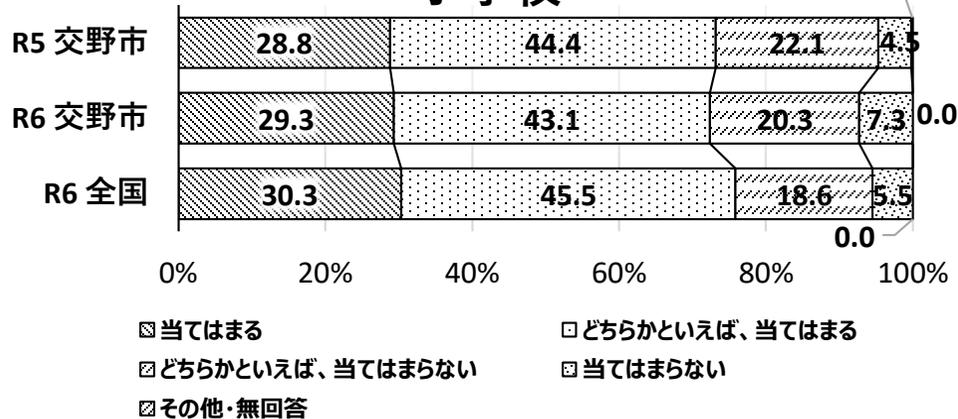


中学校

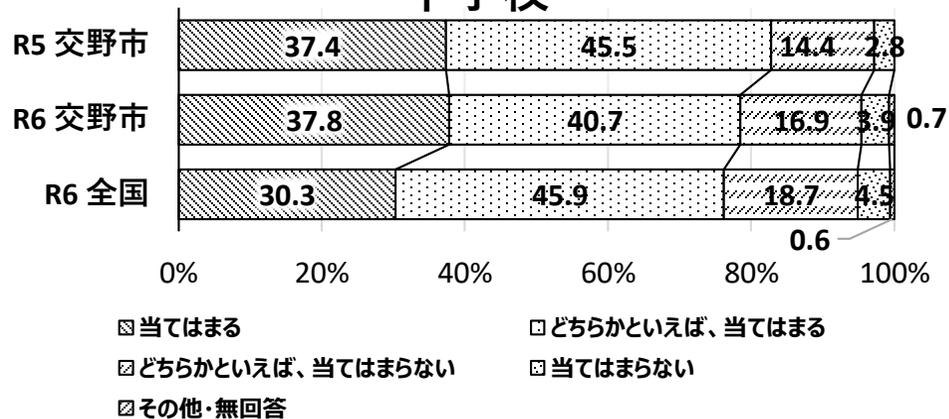


自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか

小学校



中学校

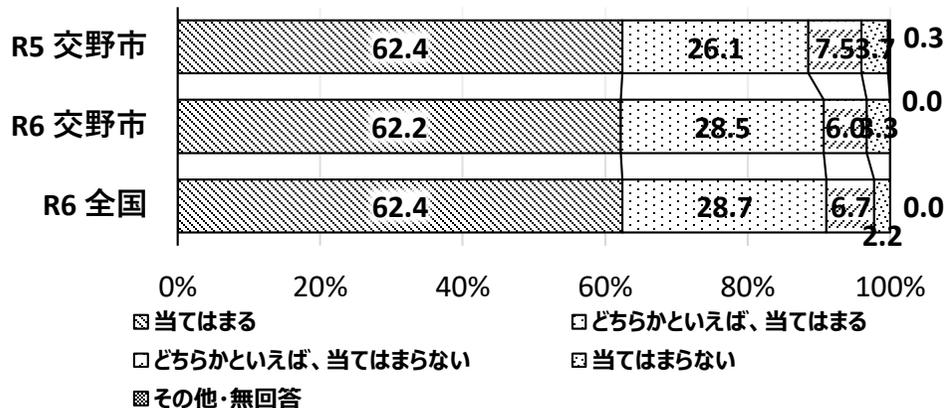


児童生徒質問紙調査結果

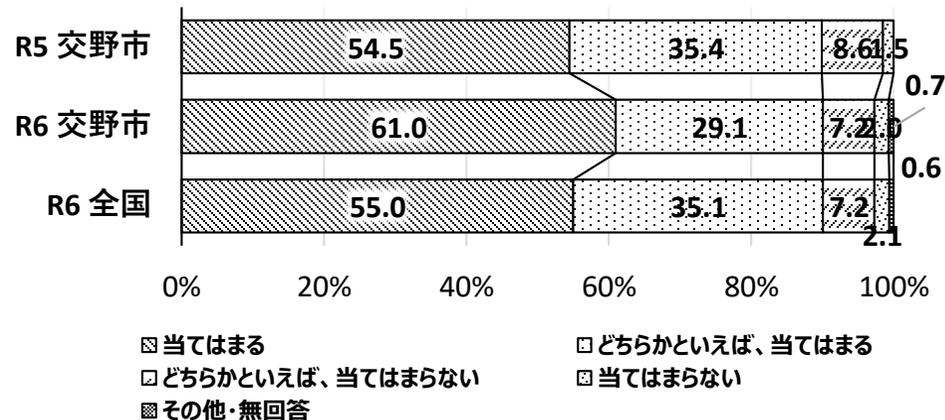
児童・生徒同士の関わりに関する項目②

友達関係に満足していますか

小学校

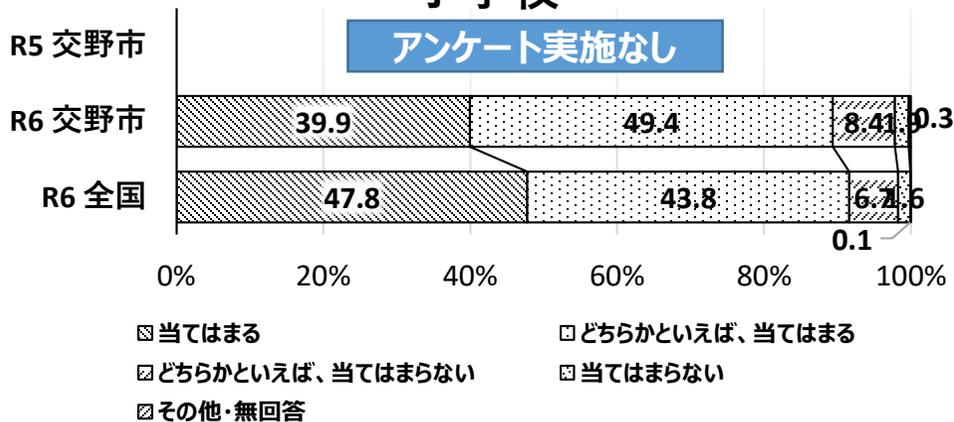


中学校

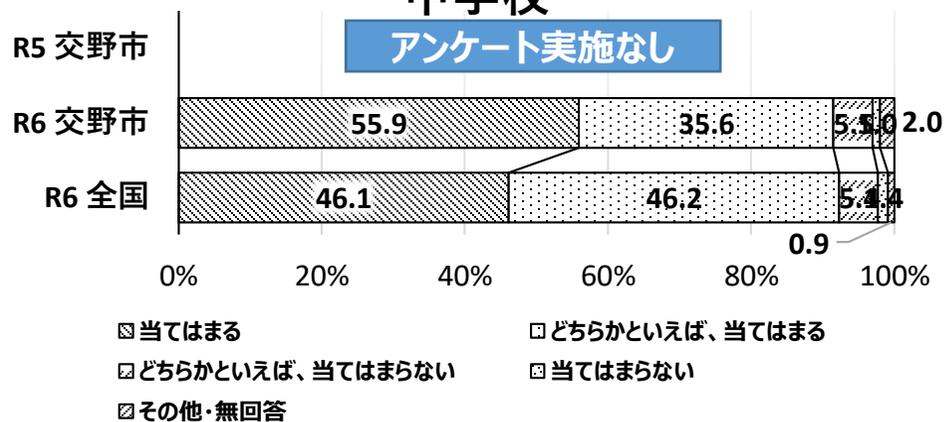


授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか

小学校



中学校

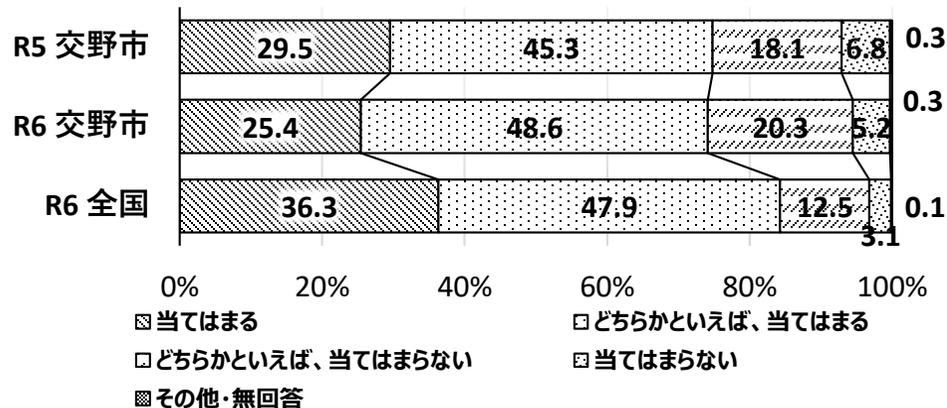


児童生徒質問紙調査結果

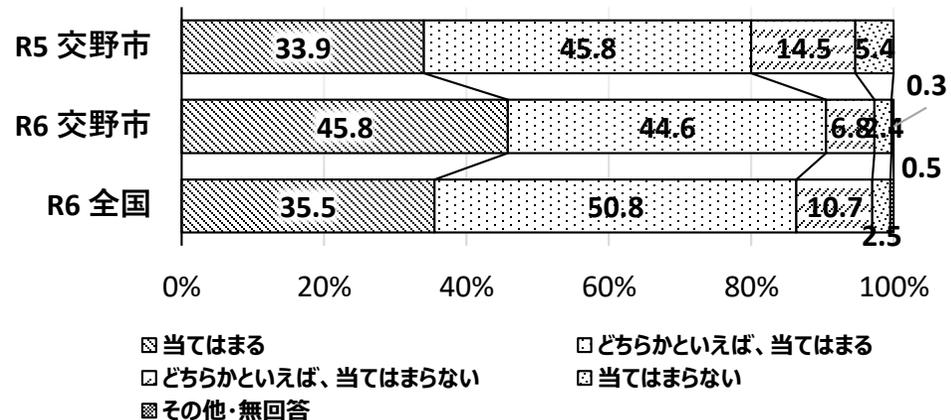
児童・生徒同士の関わりに関する項目③

あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか

小学校



中学校



児童生徒質問紙調査結果

児童・生徒同士の関わりに関する項目

肯定的回答（「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の合計）【%】

質問項目	小学校 (市)	小学校 (全国)	中学校 (市)	中学校 (全国)
人が困っているときは、進んで助けていますか	91.2	92.7	91.5	90.1
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	72.4	75.8	78.5	76.2
友達関係に満足していますか	90.7	91.1	90.1	90.1
授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	89.3	91.6	91.5	92.3
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	74.0	84.2	90.4	86.3
平均	83.5	87.1	88.4	87.0

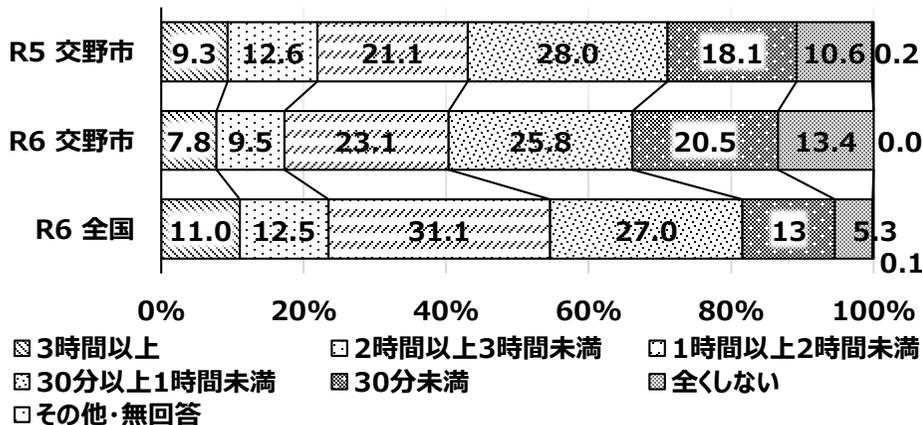
- ・小学校ではすべての項目で全国平均を下回り、中学校では3つの項目で全国平均を上回っている。
- ・小・中学校ともに、「人が困っているときは、進んで助けているか」に関する項目における肯定的回答が他の項目と比較して高い。
- ・小・中学校ともに、「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思うか」については、他の項目に比べ低い。

児童生徒質問紙調査結果

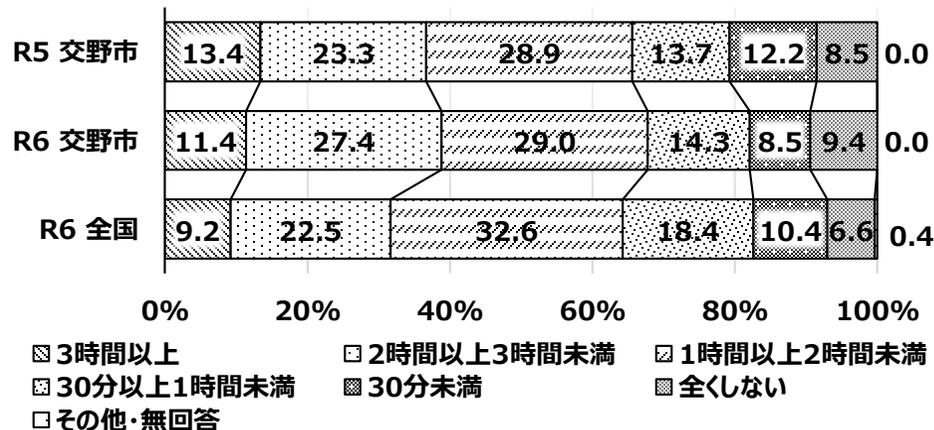
学習習慣に関する項目

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含まます）

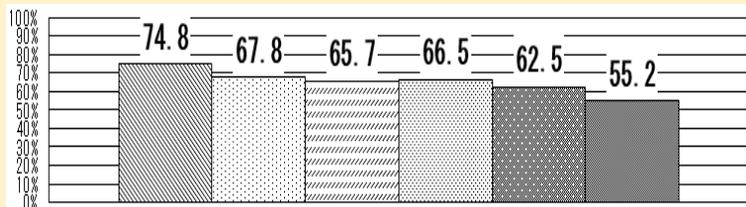
小学校



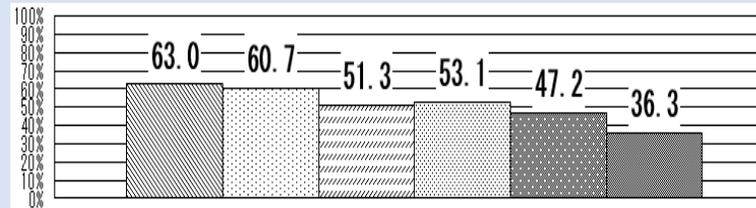
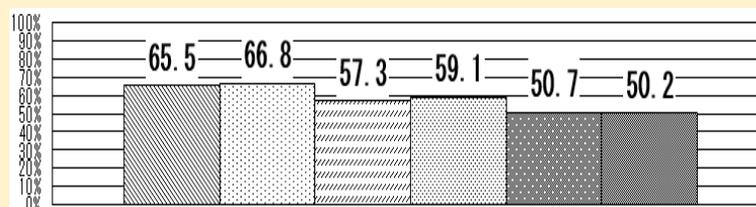
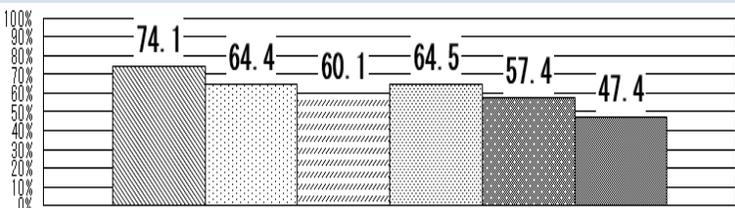
中学校



国語



算数
数学

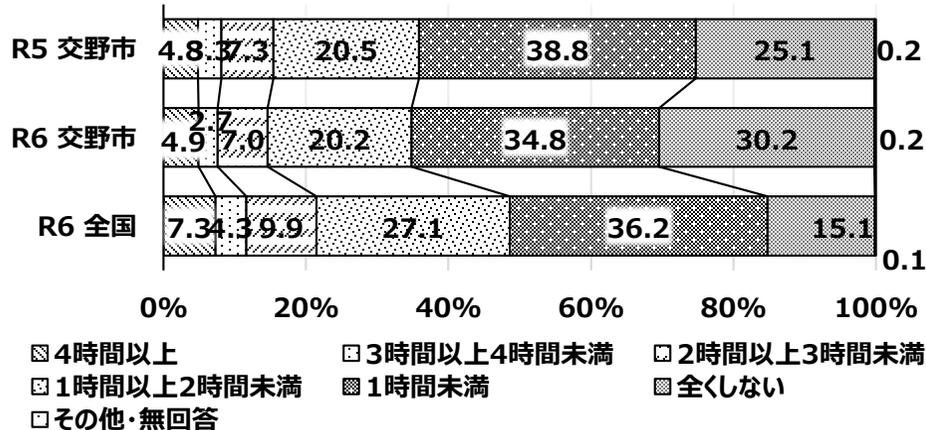


児童生徒質問紙調査結果

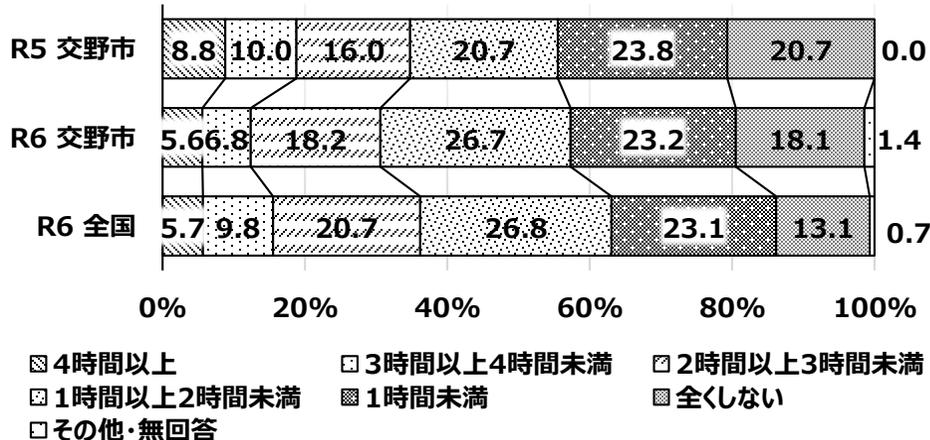
学習習慣に関する項目

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

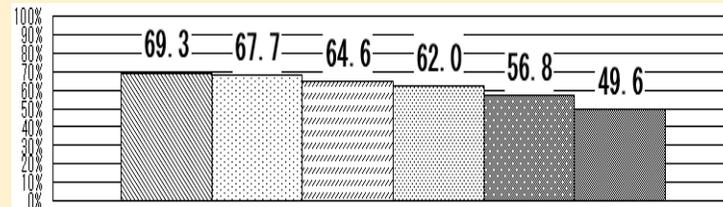
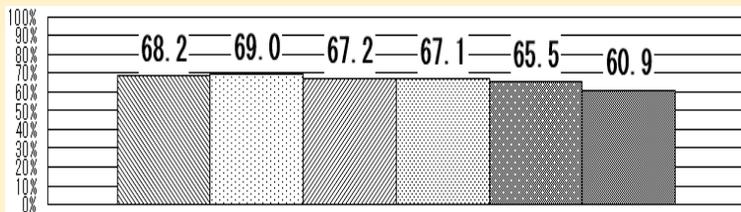
小学校



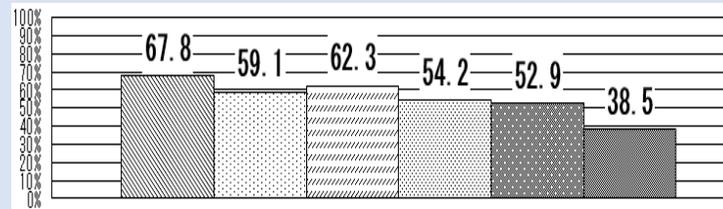
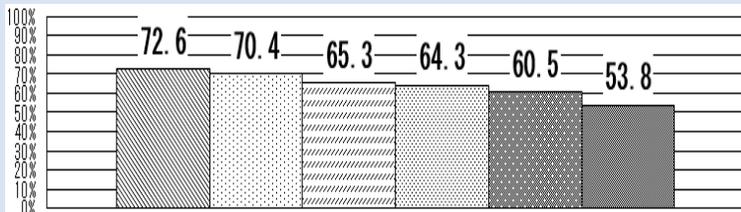
中学校



国語



算数
数学

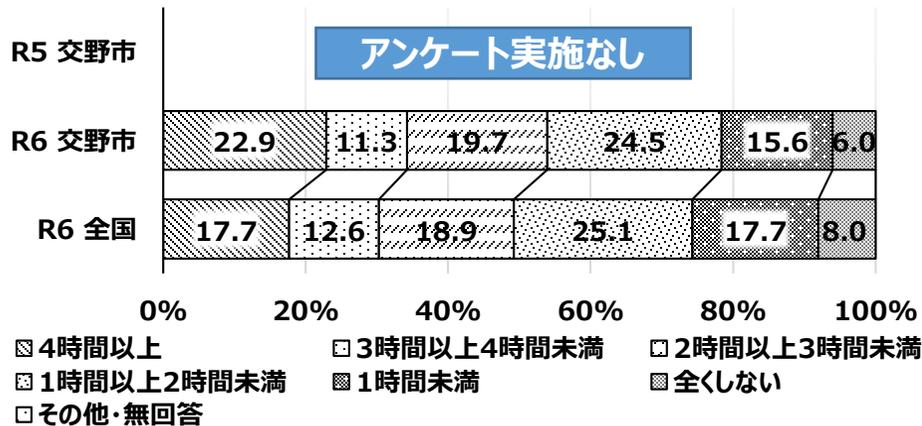


児童生徒質問紙調査結果

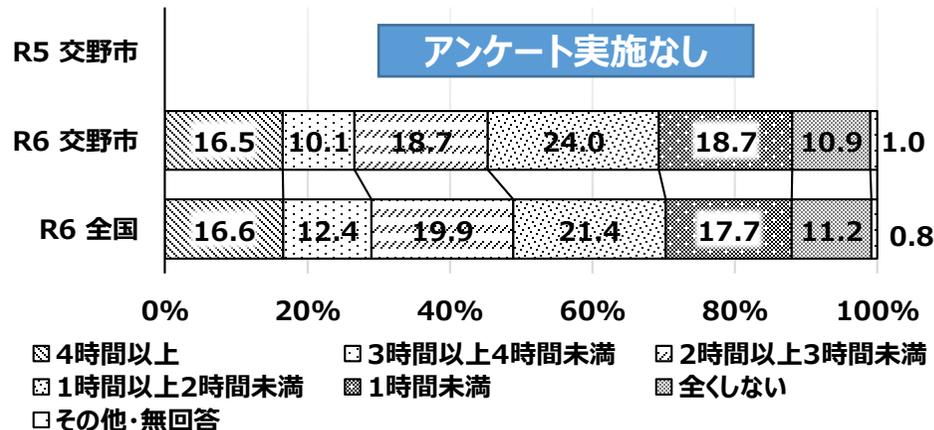
生活習慣に関する項目

普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか

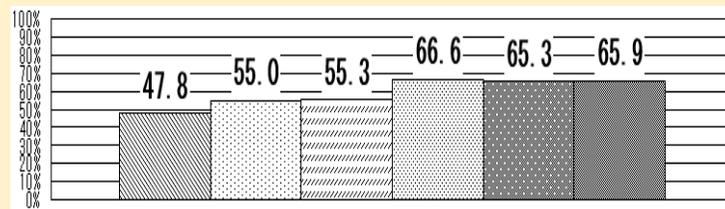
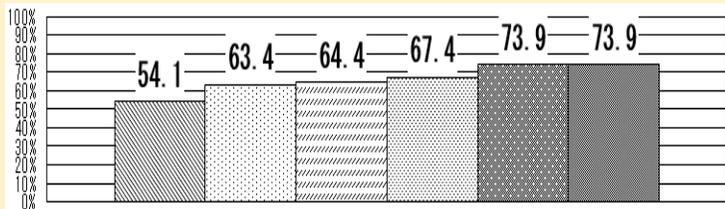
小学校



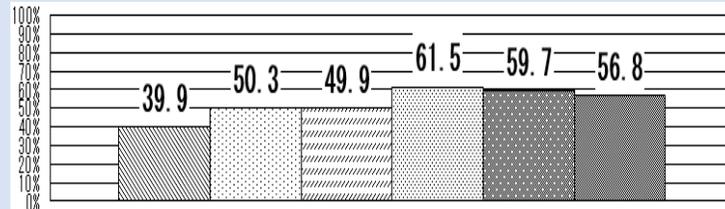
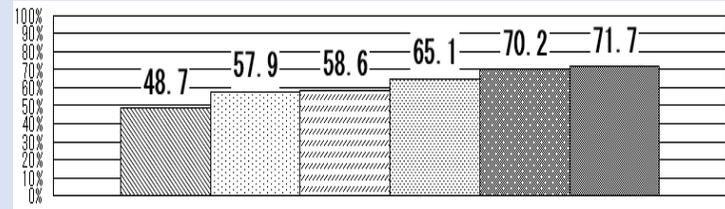
中学校



国語



算数
数学



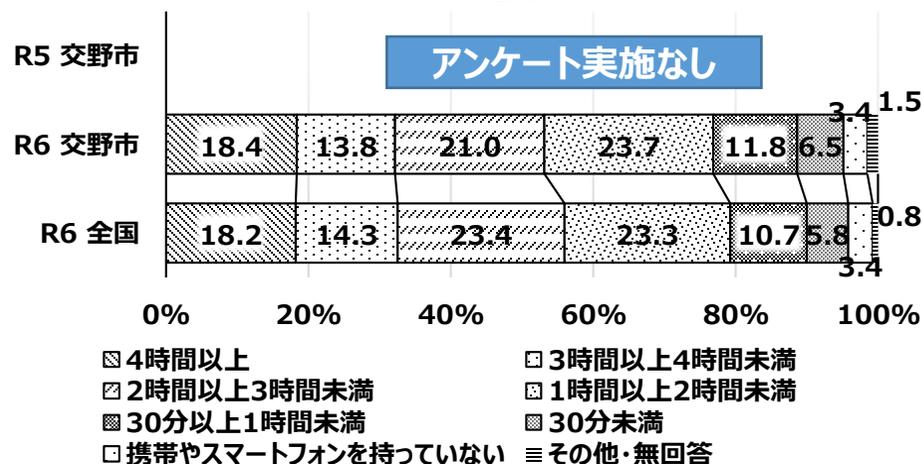
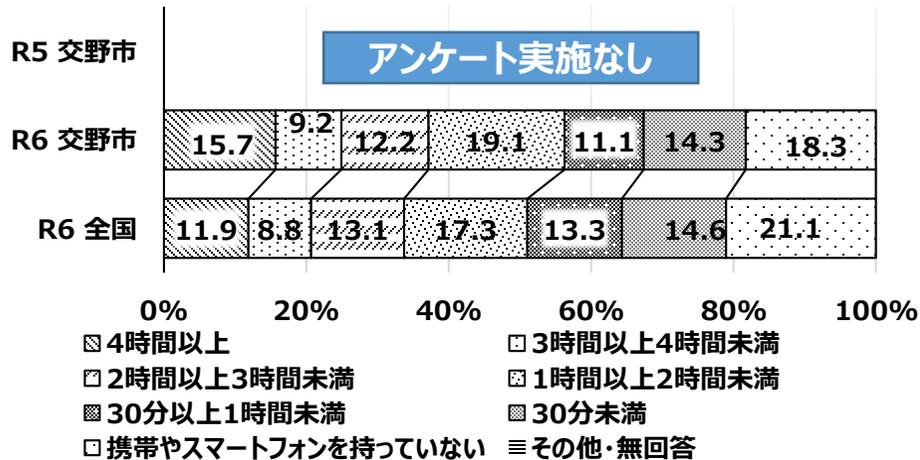
児童生徒質問紙調査結果

生活習慣に関する項目

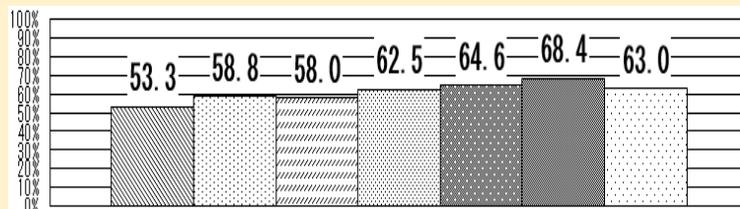
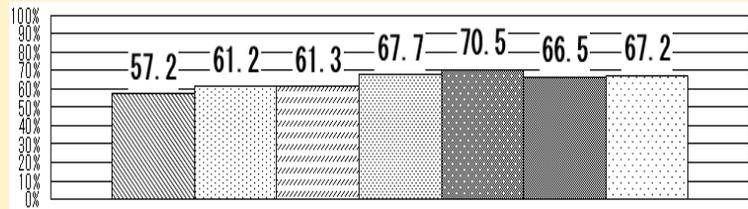
普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）

小学校

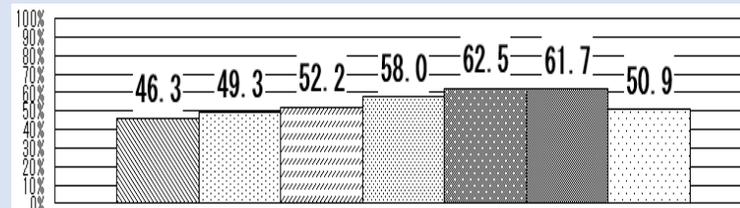
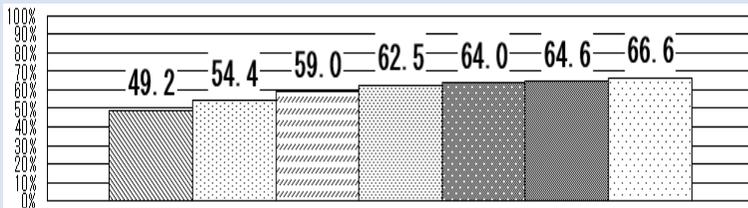
中学校



国語



算数
数学



取組みの成果と課題解決に向けて

調査結果から

- 教科に関する調査について、小学校では国語・算数ともに全国平均を下回り、中学校では国語・数学ともに概ね全国平均正答率を上回る結果となった。
 - 小・中学校ともに「授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた」「授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた」の肯定的回答の数値が向上し、授業改善等の一定の成果が見られた。
- ▶ 小・中学校ともに、学力の定着に課題が見られた児童・生徒への支援を行い、学力水準の底上げを図ることが必要。
 - ▶ 「記述式」で正答率が低く、無解答率の改善も必要。
 - ▶ 資料やデータをもとに考察し、理由等を明確にして表現する取組みが必要。
 - ▶ 学習習慣や生活習慣において改善が必要。

改善のための 方策

児童・生徒の自ら学ぶ意欲と態度の育成や社会の変化に対応した学習指導方法の充実

- 「学力向上プラン」の改訂を進めるとともに、「かたのスタディ」や「授業づくりハンドブック」の見直しや改訂も進めつつ、言語活用の定着を図るための、各校の授業改善の取組みを支援する。
- 学力向上担当者会、市学力向上モデル校の授業公開等を通して、以下の内容について好事例等の情報発信・共有を行う。
 - ・ 「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりにおいて、「指導と評価の一体化」を実現させ、児童・生徒が自らの学習状況を把握し、学習改善に努めることにつなげること。
 - ・ 学習展開（目的を明確にしたペアやグループ学習の実施）や発問（「なぜ」「なに」等、思考を深める問い）を創意工夫し、課題とされる判断と根拠、結果と原因の関係を明確にして表現する学習活動を全教科で設定します。また、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり、関係付けたりして、伝え合う内容を検討する指導や、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する指導の充実させること。
- 学校司書や「学びあいサポーター」を活用し、学校図書館の機能の更なる充実を図り、読書の楽しさを味わうことができる読書活動の推進に取り組むとともに、併せて、学校図書館資料や新聞を活用した授業（資料やデータの活用・資料やデータからの考察等を通じた探究的な学び）づくりについての研究を継続させる。
- 教員の授業力向上を図るため、自分で考え、自分から取り組む子どもたちを育成するため、探究型授業に先進的に取り組んでいる他府県への教員視察を実施する。
- 市教職員専用の学力向上ポータルサイトを運用し、市内全教員に、効果のあった先進的な取組み等を発信・共有する。
- 中学校区全体の目標とするめざす子ども像や現状及び課題等を家庭や地域住民と共有し、課題解決に向けて取り組む体制づくりを支援する。（令和7年4月 市内全ての中学校区に「コミュニティ・スクール」を導入）
- 児童・生徒の主体的に学ぶ意欲や互いを高め合う態度の醸成を図るため、企業や教育機関と連携し、大学等での体験学習やプレゼンテーションコンテストの開催を進める。

